

# 全国, 本市ともに消費者物価が下落 ～平成21年福岡市消費者物価指数～

今月号の特集は総務省統計局が公表している消費者物価指数について、福岡市の平成21年の結果を紹介します。

消費者物価指数とは、ある基準となる年に家計で購入した様々な商品（財やサービス）と同じものを、別の年に買いそろえるのに必要なお金がいくらになるかを指数で表したものの。

## 1. 概況

福岡市の平成21年平均の消費者物価指数は総合が99.6（平成17年を100とする）と、前年に比べ1.4%下落しています。1.4%の下落は比較可能な昭和46年以降で、平成13年の1.5%の下落に次ぐ下落幅となっています。全国の総合は100.3で、前年に比べ1.4%下落し、昭和46年以降最大の下落幅となっています。

また、季節等により変動の激しい生鮮食品を除く総合は、福岡市が99.6（前年比△1.2%）、全国は100.3（同△1.3%）となっています。

「食料」、「住居」等10大費目別で見ると、

指数は「光熱・水道」が103.8で4年連続で最も高く、次いで「教育」が102.5となっています。一方、指数が最も低いのは「家具・家事用品」の89.9で、こちらも4年連続で最も低くなっています。

前年比では「保健医療」と「教育」の他は下落しており、下落幅が最も大きいのは「交通・通信」（同△3.6%）となっています。なお、「家具・家事用品」は平成6年以降、「教養娯楽」は平成11年以降下落が続いています。（表1、図1）

図1 消費者物価指数（総合）の推移

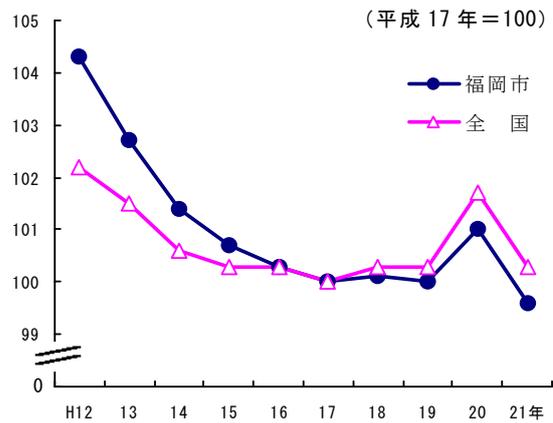


表1 消費者物価指数（10大費目）の推移

(平成17年=100)

年	総合	生鮮食品を除く総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
平成17年	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
18年	100.1	99.9	100.2	100.3	102.0	97.9	100.4	99.2	99.8	100.7	98.8	101.4
19年	100.0	99.7	100.6	100.4	102.5	93.6	97.8	99.0	99.8	102.0	98.1	102.4
20年	101.0	100.8	102.5	101.3	105.7	92.4	97.1	98.8	101.6	102.1	97.3	102.6
21年	99.6	99.6	102.0	100.7	103.8	89.9	94.8	99.4	97.9	102.5	95.3	101.9
〃(全国)	100.3	100.3	103.6	99.8	106.1	93.9	101.0	99.3	97.4	103.0	94.3	101.7
前年比(%)												
平成17年	△0.3	△0.1	△1.1	△0.7	△0.4	△1.0	3.3	△0.7	0.0	0.5	△0.4	0.7
18年	0.1	△0.1	0.2	0.3	2.0	△2.1	0.4	△0.8	△0.2	0.7	△1.2	1.4
19年	△0.1	△0.2	0.4	0.1	0.5	△4.4	△2.6	△0.2	0.0	1.3	△0.7	1.0
20年	1.0	1.1	1.9	0.9	3.1	△1.3	△0.7	△0.2	1.8	0.1	△0.8	0.2
21年	△1.4	△1.2	△0.5	△0.6	△1.8	△2.7	△2.4	0.6	△3.6	0.4	△2.1	△0.7
〃(全国)	△1.4	△1.3	0.2	△0.2	△4.2	△2.2	△0.9	△0.1	△4.9	0.9	△2.5	△0.4

注) 年平均

## 2. 10大費目別指数の動き

- ①食料 「菓子類」は 3.7%上昇していますが、「肉類」、「飲料」等多くが下落し、全体では 0.5%の下落となっています。
- ②住居 ウェイトの大きい「家賃」が下落し、全体では 0.6%の下落となっています。
- ③光熱・水道 「電気代」は上昇していますが、「ガス代」と「他の光熱」（灯油）が下落し、全体では 1.8%の下落となっています。
- ④家具・家事用品 「家庭用耐久財」（電気冷蔵庫、ルームエアコン等）が 8.4%下落し、全体では 2.7%の下落となっています。
- ⑤被服及び履物 「衣料」と「シャツ・セーター・下着類」が下落し、全体では

2.4%の下落となっています。

- ⑥保健医療 「医薬品・健康保持用摂取品」が下落していますが、出産入院料の上昇等により「保健医療サービス」が上昇し、全体では 0.6%の上昇となっています。
- ⑦交通・通信 前年に高騰したガソリンの下落等により「自動車等関係費」が 6.0%下落し、全体では 3.6%の下落となっています。
- ⑧教育 「授業料等」を始めいずれも上昇し、全体では 0.4%の上昇となっています。
- ⑨教養娯楽 「教養娯楽用耐久財」（テレビ（薄型）、パソコン等）が 21.6%下落し、また、燃料費の値下がり等により外国パック旅行が下落したため「教養

表 2 中分類別指数

(平成17年=100)

分類	ウェイト	平成20年	21年	前年比 (%)	分類	ウェイト	平成20年	21年	前年比 (%)
総	10 000	101.0	99.6	△1.4	被服関連サービス	32	103.8	105.4	1.5
食	2 508	102.5	102.0	△0.5	保健医療	406	98.8	99.4	0.6
穀類	208	102.5	103.5	1.0	医薬品・健康保持用摂取品	124	95.8	94.2	△1.7
魚介類	231	104.9	104.0	△0.9	保健医療用品・器具	67	99.6	101.5	1.9
肉類	226	106.2	103.9	△2.2	保健医療サービス	215	100.3	101.7	1.4
乳卵類	106	104.4	104.1	△0.3	交通・通信	1 554	101.6	97.9	△3.6
野菜・海藻	268	102.3	101.5	△0.8	交通	338	102.2	101.6	△0.6
果物	82	98.9	93.4	△5.6	自動車等関係費	843	104.7	98.4	△6.0
油脂・調味料	97	104.7	104.8	0.1	通信	374	94.1	93.6	△0.5
菓子類	203	98.9	102.6	3.7	教育	442	102.1	102.5	0.4
調理食品	245	106.2	106.0	△0.2	授業料等	351	101.3	101.5	0.2
飲料	129	95.4	91.7	△3.9	教科書・学習参考教材	10	100.9	105.8	4.9
酒	123	101.9	99.2	△2.6	補習教育	82	105.8	106.2	0.4
外食	591	101.5	101.5	0.0	教養娯楽	1 186	97.3	95.3	△2.1
住居	1 755	101.3	100.7	△0.6	教養娯楽用耐久財	115	54.2	42.5	△21.6
家賃	1 447	101.2	100.1	△1.1	教養娯楽用品	225	101.1	101.4	0.3
設備修繕・維持	308	101.9	103.9	2.0	書籍・他の印刷物	159	100.9	101.2	0.3
光熱・水道	655	105.7	103.8	△1.8	教養娯楽サービス	687	102.3	100.7	△1.6
電気代	260	101.8	102.5	0.7	諸雑費	654	102.6	101.9	△0.7
ガス代	195	109.1	107.8	△1.2	理美容サービス	135	101.1	101.1	0.0
他の光熱	23	151.6	100.1	△34.0	理美容用品	156	97.4	95.2	△2.3
上下水道	178	101.7	101.7	0.0	身の回り用品	106	115.6	115.7	0.1
家具・家事用品	318	92.4	89.9	△2.7	たばこ	56	109.2	109.2	0.0
家庭用耐久財	104	66.9	61.3	△8.4	他の諸雑費	201	99.1	98.4	△0.7
室内装備	31	106.1	105.3	△0.8	生鮮食品	374	104.3	100.9	△3.3
寝具類	23	106.5	109.1	2.4	生鮮食品を除く総合	9 626	100.8	99.6	△1.2
家事雑貨	74	107.2	105.3	△1.8	持家の帰属家賃を除く総合	9 050	100.8	99.5	△1.3
家事用消耗品	67	102.4	101.0	△1.4	持家の帰属家賃及び生鮮食品を除く総合	8 675	100.7	99.4	△1.3
家事サービス	18	99.7	97.8	△1.9	エネルギー	664	112.6	102.8	△8.7
被服及び履物	521	97.1	94.8	△2.4	食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合	6 951	99.3	98.5	△0.8
衣料	231	94.3	91.4	△3.1	教育関係費	520	102.2	102.6	0.4
シャツ・セーター・下着類	169	104.6	100.8	△3.6	教養娯楽関係費	1 377	97.8	96.0	△1.8
履物類	53	83.9	84.5	0.7	情報通信関係費	503	95.9	95.6	△0.3
他の被服類	35	94.1	94.1	0.0					

「娯楽サービス」が1.6%下落し、全体では2.1%の下落となっています。

⑩諸雑費 「理美容用品」、「他の諸雑費」が下落し、全体では0.7%の下落となっています。(表2)

年2月と8月に谷となる傾向があり、最高値は11月の97.8,最低値は2月の90.1となっています。「家具・家事用品」は年間を通じて下落傾向にあります。「教育」と「教養娯楽」は年間を通してほぼ横ばいで推移しています。(表3, 図2)

### 3. 年間の動き

消費者物価指数の年間の動きを見ると、総合では最高値は4月の100.2,最低値は12月の98.7となっています。

10大費目別では、「光熱・水道」は4月の106.9をピークに10月には99.2まで下落しています。「被服及び履物」は毎

### 4. 大都市の状況

17大都市(数値が公表されていない浜松市と堺市を除く政令指定都市及び東京都区部)の消費者物価指数(年平均)を見ると、総合では静岡市の101.1が最も高く、次いで、横浜市,名古屋市,広島市

図2 消費者物価指数の推移(月別)

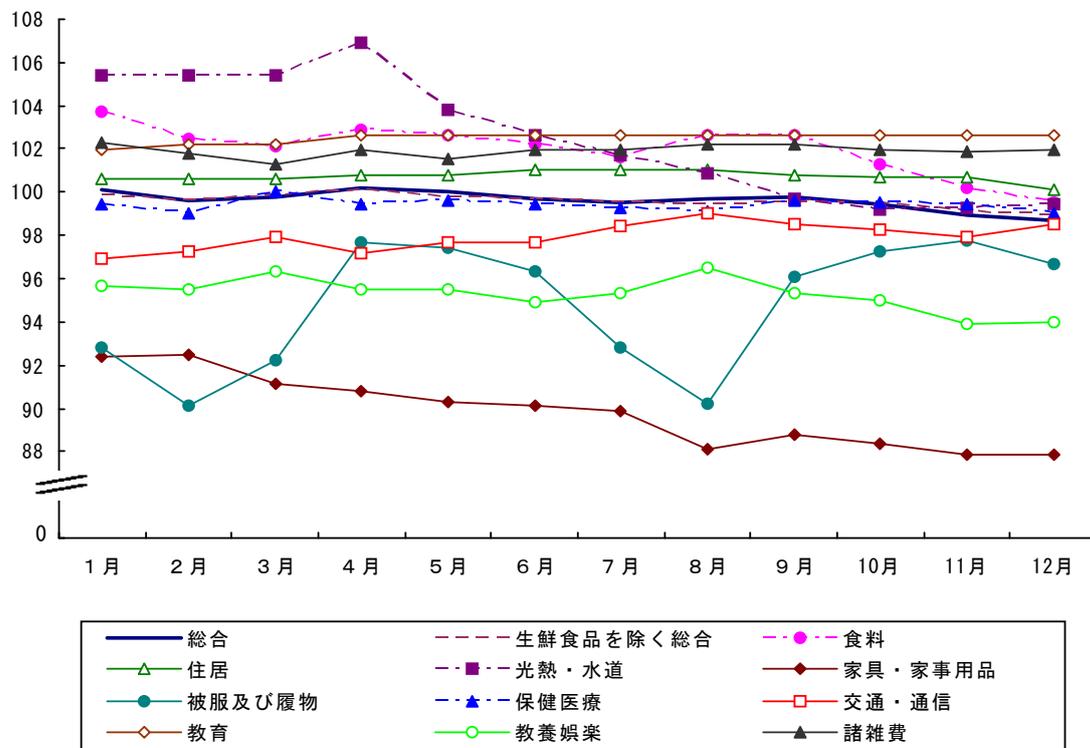


表3 消費者物価指数の推移(月別)

平成21年		(平成17年=100)											
分類		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
総	合	100.1	99.6	99.8	100.2	100.0	99.7	99.5	99.7	99.8	99.4	98.9	98.7
生鮮食品を除く総合		99.9	99.6	99.9	100.1	99.8	99.7	99.5	99.4	99.5	99.5	99.1	98.9
食	料	103.7	102.5	102.1	102.9	102.6	102.2	101.6	102.6	102.6	101.3	100.2	99.5
住	居	100.6	100.6	100.6	100.8	100.8	101.0	101.0	101.0	100.8	100.7	100.7	100.1
光熱・水道		105.4	105.4	105.4	106.9	103.8	102.6	101.7	100.9	99.7	99.2	99.3	99.4
家具・家事用品		92.4	92.5	91.1	90.8	90.3	90.1	89.9	88.1	88.8	88.4	87.9	87.9
被服及び履物		92.8	90.1	92.2	97.7	97.4	96.3	92.8	90.2	96.1	97.3	97.8	96.7
保健医療		99.4	99.0	100.0	99.4	99.6	99.4	99.3	99.1	99.6	99.5	99.4	99.0
交通・通信		96.9	97.3	97.9	97.2	97.7	97.7	98.4	99.0	98.5	98.3	97.9	98.5
教	育	102.0	102.2	102.2	102.6	102.6	102.6	102.6	102.6	102.6	102.6	102.6	102.6
教養娯楽		95.7	95.5	96.3	95.5	95.5	94.9	95.3	96.5	95.3	95.0	93.9	94.0
諸	雑費	102.3	101.8	101.3	102.0	101.5	102.0	102.0	102.2	102.2	102.0	101.9	102.0

が100.9となっています。一方、最も低いのは新潟市の99.4で福岡市の99.6は2番目に低くなっています。前年比では、総合はすべての都市で下落しており、下落幅が最も大きいのは札幌市の2.4%の下落で、次いで仙台市と岡山市が1.7%の下落、福岡市の1.4%の下落は6番目の下落幅となっています。

10大費目別に見ると、指数では、「食料」(107.2)と「保健医療」(101.8)は静岡

市が最も高く、「水道・光熱」(108.9)と「家具・家事用品」(102.8)は岡山市が最も高くなっています。前年比では、「光熱・水道」、「家具・家事用品」、「交通・通信」、「教養・娯楽」はすべての都市で下落しています。(表4)

\* \* \* \* \*

総務省統計局のホームページで詳細をご覧ください。

<http://www.stat.go.jp/>

表4 大都市の消費者物価指数

平成21年

(平成17年=100)

都市	総合	生鮮食品	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
		を除く 総合										
指 数												
全 国	100.3	100.3	103.6	99.8	106.1	93.9	101.0	99.3	97.4	103.0	94.3	101.7
札幌市	99.7	99.6	102.6	98.3	104.8	95.2	102.0	99.5	98.3	107.0	92.9	99.9
仙台市	99.9	99.7	102.2	99.6	104.7	89.8	100.6	98.0	98.0	103.3	95.5	102.4
さいたま市	100.2	100.3	101.5	102.8	107.6	91.2	100.6	99.7	98.3	102.2	93.6	101.0
千葉市	99.7	99.8	100.6	100.0	106.5	91.0	98.0	99.8	98.4	102.0	97.2	102.1
東京都区部	100.0	100.0	102.2	99.9	105.5	92.7	98.7	99.5	98.0	103.2	95.0	101.2
川崎市	100.4	100.4	103.6	100.8	105.7	98.8	97.0	101.0	98.3	103.4	92.9	101.4
横浜市	100.9	101.0	103.7	100.8	106.2	96.6	99.7	99.9	97.4	101.8	97.1	103.8
新潟市	99.4	99.5	101.3	99.4	104.0	89.2	103.4	98.8	97.5	104.0	93.0	101.1
静岡市	101.1	100.8	107.2	99.3	107.1	92.9	100.7	101.8	97.3	97.2	93.7	102.0
名古屋市	100.9	100.9	103.4	101.9	106.5	92.4	102.3	98.7	97.3	103.4	94.8	102.4
京都市	100.0	100.2	102.7	98.8	104.4	87.6	101.4	100.1	97.8	103.3	94.5	103.1
大阪市	100.0	100.0	102.9	97.7	104.5	94.0	101.8	101.2	97.6	105.4	93.7	100.9
神戸市	99.8	99.8	102.8	98.5	104.4	94.2	98.0	98.6	97.9	101.9	95.9	99.9
岡山市	100.7	101.1	102.6	100.7	108.9	102.8	97.7	100.3	97.1	102.1	96.5	102.1
広島市	100.9	101.1	104.2	100.4	107.2	87.8	105.2	98.2	97.6	105.8	95.2	102.1
北九州市	100.3	100.3	103.0	99.8	103.7	91.4	99.3	99.8	98.1	103.8	95.9	101.9
福岡市	99.6	99.6	102.0	100.7	103.8	89.9	94.8	99.4	97.9	102.5	95.3	101.9
前 年 比 (%)												
全 国	△1.4	△1.3	0.2	△0.2	△4.2	△2.2	△0.9	△0.1	△4.9	0.9	△2.5	△0.4
札幌市	△2.4	△2.4	0.1	△1.8	△10.9	△2.7	0.5	△0.7	△4.6	2.4	△3.2	△1.3
仙台市	△1.7	△1.7	0.0	△0.1	△5.9	△4.9	△3.4	△0.4	△4.6	0.9	△2.4	0.4
さいたま市	△1.1	△0.9	△0.8	0.7	△2.4	△3.1	0.9	0.4	△3.2	1.1	△3.6	△0.4
千葉市	△1.6	△1.3	△1.5	0.1	△4.0	△4.0	△3.2	0.3	△3.4	1.2	△2.4	△0.1
東京都区部	△1.2	△1.0	△0.5	△0.5	△1.9	△2.5	△1.6	0.1	△2.6	0.7	△3.1	△0.8
川崎市	△0.9	△0.9	△0.1	0.2	△2.0	△0.3	△4.2	0.5	△2.6	0.8	△2.6	△0.3
横浜市	△1.1	△1.0	0.0	△0.2	△2.0	△0.8	△2.4	△0.2	△3.5	0.5	△2.4	0.0
新潟市	△1.6	△1.6	△0.4	△0.1	△4.7	△2.3	△0.6	△0.5	△4.9	1.8	△3.5	△1.2
静岡市	△0.2	△0.3	1.7	2.3	△1.9	△3.0	△0.9	1.9	△5.3	△1.4	△2.2	△0.4
名古屋市	△0.8	△0.7	0.2	0.7	△1.4	△4.0	1.6	△0.7	△4.2	0.7	△2.1	△0.3
京都市	△0.9	△0.6	△1.0	0.2	△1.2	△3.9	0.4	0.0	△3.5	1.1	△1.7	0.1
大阪市	△0.7	△0.7	0.1	△0.9	△0.9	△3.2	0.0	1.6	△2.8	3.1	△2.2	△1.2
神戸市	△1.1	△1.0	△0.6	0.7	△1.0	△2.2	△4.4	△0.7	△3.3	0.6	△2.4	△1.3
岡山市	△1.7	△1.4	△1.1	0.1	△3.6	△1.2	△1.2	0.3	△4.8	0.6	△2.4	△0.7
広島市	△1.3	△1.2	0.4	△0.2	△2.7	△5.3	0.6	△0.9	△5.1	1.5	△2.3	△0.2
北九州市	△1.2	△1.1	△0.2	△0.9	△2.9	△1.2	△0.7	0.5	△4.8	0.7	△1.7	△0.3
福岡市	△1.4	△1.2	△0.5	△0.6	△1.8	△2.7	△2.4	0.6	△3.6	0.4	△2.1	△0.7